

学校 教育 目標	力を合わせ笑顔が光る日限の子 ~互いを思いやり認め合い、進んで活動できるようにします~ ○学ぶことの意義や楽しさを感じながら、「意欲的に学び続ける力」を育みます。(知) ○相手の立場や気持ちを思いやり行動できる「優しさ」を育みます。(徳) ○健康を保持増進させる態度や、心身ともに「たくましく生きる力」を育みます。(体) ○まちがより良くなるために、自分ができることを考え、友達と「力を合わせて行動する態度」を育みます。(公) ○価値観が異なる相手ともコミュニケーションを図りながら、「共に生きていく力」を育みます。(開)				
	創立 49 周年	学校長 岡崎 陽子	副校長 江目 典子	2 学期制	一般学級: 13 個別支援学級: 4
学校 概要	児童生徒数: 437 人 主な関係校: 日限山中学校 南舞岡小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	日限山中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
		<自分づくりに関する力> <問題発見・解決能力> <言語能力>
	日限山中学校 南舞岡小学校 日限山小学校	探求する心を醸成して、横浜の未来を担う豊かな人間性と創造性を備えた子ども ~知りたいと思う気持ちを大切に、分かったという喜びにつなげます。 分かったという喜びを重ねて、探求する心を育てます。~ ○小中連携教職員研修会(人権研修7月、授業公開及び協議会6月) ○横浜子ども会議(7・8月) ○児童生徒交流(6年児童による中学校授業見学10月・部活動体験11月、中学校教員による授業体験12月) ○3校教務主任会(4月、3月) ○3校長会(毎月)

中期 取組 目標	○友達と協力し、認め合いながら自分のよさを生かして活動する態度を育てます。 ○学校や地域の中から問題を見出し、課題解決までの道筋を見通し、困難が生じた場面でも解決方法を工夫して、粘り強く取り組む態度を育てます。 ○友達の立場や意図を理解しながら聞き、自分の立場や意図が伝わるようにまとめて、自分の思いや考えを伝えることができるようにします。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善 個に応じた指導	①だれもが自分の考えをもつことができるような単元づくりを行う。 ②だれもが考えをもつことができるような手立てを工夫する。 ③自信をもって、表現しあえる子を育てるため、「自分づくり教育を充実させる10の視点」から授業づくり行う。
担当 生きてはたらく知部会	
徳 人権教育	①異学年交流活動を充実させ、友達のよさを認め、思いやりのある子どもに育てる。 ②保護者や地域の方たちにも自分からあいさつすることができるよう指導していく。 ③教職員自ら人権感覚を磨くとともに年間を通して人権を大切に教育活動を実施し、保護者にも発信する。
担当 豊かな心部会	
体 健康教育 食育 安全教育	①年間を通して、1校1実践運動で縄跳びに取り組み、児童が自分のめあてをつくり、達成する喜びを味わうことができるようにする。 ②学校保健委員会では、「運動」に視点をあてて取組み、全校児童が自分の生活を見直し、改善していくことができるようにする。 ③感染予防対策を徹底し、安全に学校生活を送ることができるように取り組む。
担当 健やかな体委員会	
公開 自分づくり教育	①自分づくり教育で身に付けさせたい資質能力システム表を活用し、全職員で自分づくり教育への共通認識をはかるとともに、系統性をもって段階的に指導することを通して、自分づくり教育を進める。②自分たちの住むまちへの関心を広げたり深めたりする活動を通してまちへの愛着をもち、自分ができることを考え、実践につなげていく力を身に付けられるようにする。③友達と協力し認め合いながら、自分のよさを生かして活動する場面を設定し、自己肯定感を高められるようにする。
担当 生きてはたらく知部会	
いじめへの対応	①いじめ防止対策委員会や研修を通して、いじめに対する全職員のアンテナを高くし、日頃からいじめは許さないという姿勢を全職員で示す。②いじめ対策防止法を見直し、改善していくとともに保護者に周知し、保護者とともに見守る体制をつくる。③子どもの些細な変化を捉え、複数の職員で丁寧に対応する。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①学年研やブロック研、校内研修を通して、教職員の教科指導・児童指導・危機管理・人権意識等の教師力を高める。 ②メンターチームを活用し、経験の浅い教員の指導力向上と組織対応の充実を図る。 ③職員自ら終業時刻を意識して、業務を進めるよう、適宜声をかける。
担当 主幹教諭/管理職	
地域連携・ 学校運営協議会	①生活科や総合的な学習の時間、学校行事を中心に、地域とのつながりを持ち、まちの一員としての意識を育てる。②学校運営協議会を通じて保護者・地域がより連携を強め、日限山中学校ブロックとして具体的な取組を工夫する。③ひざりんサポーターズを通じて地域の力を教育活動に生かしていく。
担当 地域連携担当/管理職	
特別支援教育	①児童一人ひとりのアセスメントを丁寧に行うことで困り感を把握し、児童のニーズに応じた支援、指導が行えるよう一人ひとりを大切に教育環境を整えるとともに教育活動について保護者に伝えていく。②個別支援学級と一般級の交流及び共同学習を計画的、定期的に行い、双方にとって意義のある開かれた学級づくりを行うようにする。交流の成果について共有していく。③児童の発達に関する研修やユニバーサルデザイン等に関する教職員研修を実施し、子どもへの理解を深めていく。
担当 豊かな心部会	
児童指導	①全職員が「日限山小スタンダード」を共有し、児童指導にあたる。②児童の少しの変化を見逃さず、学年担任や専科担当、養護教諭、児童支援専任と情報を共有して、チームで児童支援、児童指導ができるようにする。③児童が自ら考え、よりよい行動をとることができるよう指導する。④時と場を考えた言葉遣い、相手を思いやる言動について指導していく。
担当 豊かな心部会	
安全管理	①実際に想定した避難訓練を実施する際、事前指導、振り返りを行うことで「命を守るのは自分である」という意識を子どもがもつことができるようにする。②交通安全教育を定期的に行い、児童の危機管理意識を高めるようにする。③子どもが安全・安心に過ごすことができる教育環境を整備する。④安全に関する教員研修や定期的な安全点検を行い、職員の安全に対する意識を高める。
担当 安全委員会	